

# *PALMiCE/PALMiCE2からPALMiCE3への移行*

第2版 2008年2月

**Computex**<sup>®</sup>  
株式会社 コンピューテックス

CS0010(C)1107

## 目次

---

<b>Chapter 1. はじめに</b> .....	<b>3</b>
<b>Chapter 2. 移行時の注意事項</b> .....	<b>3</b>
<b>Chapter 3. ソフトウェアの互換性</b> .....	<b>4</b>
3-1 CSIDE .....	4
3-2 USBドライバ .....	4
3-3 ライセンス・ツール .....	4
<b>Chapter 4. ハードウェアの互換性</b> .....	<b>5</b>
<b>Chapter 5. ファイルの互換性</b> .....	<b>6</b>
<b>Chapter 6. プロジェクトファイルの移行</b> .....	<b>7</b>
6-1 移行手順 .....	7
6-2 スタイルについて .....	9
<b>Chapter 7. オプション製品の互換性</b> .....	<b>10</b>
7-1 ハードウェアオプション .....	10
7-2 ソフトウェアオプション .....	10
<b>Chapter 8. プロジェクト・ファイルの併用</b> .....	<b>10</b>

## Chapter 1.はじめに

PALMiCE3 は、PALMiCE/PALMiCE2 のプロジェクトの読み込みをサポートしていますので、お使いの PALMiCE/PALMiCE2 の環境から PALMiCE3 へとスムーズに移行することが出来ます。

本書は、PALMiCE / PALMiCE2 から PALMiCE3 へ移行する際の注意事項と手順について説明を行います。本書は、PALMiCE3 用 CSIDE のセットアップが行われている前提での説明となります。CSIDE をインストールされていない場合には、マニュアルをご覧の上、インストールを行ってください。

既存機種		移行機種
CSIDE for PALMiCE SH CSIDE for PALMiCE2 SH	→	CSIDE for PALMiCE3 SH
CSIDE for PALMiCE2 SH-A	→	CSIDE for PALMiCE3 SH-A
CSIDE for PALMiCE H8S CSIDE for PALMiCE2 H8S	→	CSIDE for PALMiCE3 H8S
CSIDE for PALMiCE SH (SH7055) CSIDE for PALMiCE2 SH7055	→	CSIDE for PALMiCE3 SH7055

## Chapter 2.移行時の注意事項

PALMiCE3 へ移行するには、以下の注意事項がありますのでご確認ください。

- ・プロジェクト・ファイルの読み込みは、上位互換となっています。一旦、PALMiCE3 にて、プロジェクト・ファイルを更新しますと PALMiCE/PALMiCE2 では使用することができなくなります。このため PALMiCE、PALMiCE2、PALMiCE3 間で、プロジェクト・ファイルを共有して使用することができません。
- ・移行元の CSIDE のバージョンや設定内容によっては、完全に再現が行えないことがあります。その場合は、PALMiCE3 で新規にプロジェクトを作成してください。
- ・CSIDE の共通設定である設定メニュー[CSIDE の設定]の設定内容は移行できません。このため以下の設定などは PALMiCE3 へ引き継げません。
  - ショートカット・キーの設定
  - ツール・バーの設定
  - テーマの設定
  - 色、フォントの設定など

## Chapter 3. ソフトウェアの互換性

### 3-1 CSIDE

PALMiCE3 専用の CSIDE となり、PALMiCE/PALMiCE2 と共通の CSIDE ではありません。

各機種それぞれの CSIDE が必要となります。なお、PALMiCE/PALMiCE2/PALMiCE3 それぞれの CSIDE は、異なるファイル名やフォルダ名でインストールされますので、1 台のパソコンに複数機種の CSIDE をインストールされてもご使用いただけます。

オプション・ライブラリについては、“Chapter6 オプション製品の互換性”を参照ください。

### 3-2 USB ドライバ

PALMiCE3 専用の USB インターフェースドライバが必要となります。

製品付属の CDROM に収録されている USB ドライバ、もしくは、弊社ホームページから USB ドライバをダウンロードしてお使いください。インターフェースドライバは、以下の URL にて公開しています。

デバイス・ドライバ

<http://www.computex.co.jp/support/download/interface.htm>

ホームページ上のドライバは、常に最新バージョンを公開していますので、ホームページからのダウンロードをお勧めします。

### 3-3 ライセンス・ツール

ライセンス・ツールは、PALMiCE2、PALMiCE3 と共通のソフトウェアになり、それぞれのライセンス・キーを入力することでライセンスの取得、登録、最新バージョンの CSIDE の取得などを行うことができます。

最新バージョンのライセンス・ツールは、以下の URL に公開しています。

ライセンス・ツール

[http://www.computex.co.jp/support/download/license\\_tool.htm](http://www.computex.co.jp/support/download/license_tool.htm)

## Chapter 4.ハードウェアの互換性

各機種共にターゲット・インターフェースは共通ですので、PALMiCE/PALMiCE2 で使用されていたターゲットを PALMiCE3 で使用することが可能です。

ただし、PALMiCE3 からターゲット電源の検出と HUDI 信号の電圧の仕様が以下のように変わりました。

- ・PALMiCE/PALMiCE2

ターゲット電源の検出は行いません。

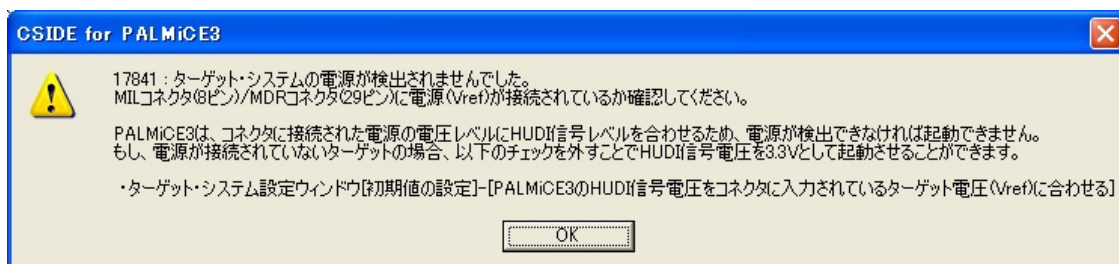
HUDI 信号は、ターゲット電圧に関係なく(端子への接続に関係なく) 3.3V で出力されます。

- ・PALMiCE3

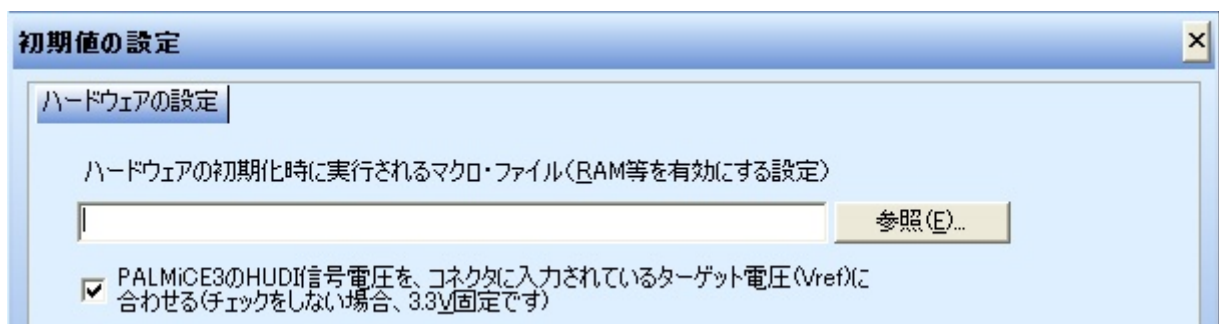
ターゲット電源の検出を MIL コネクタ 8 ピン、または、MDR コネクタ 29 ピンに接続された電源から行います。HUDI 信号は、検出されたターゲット電圧に合わせて同じ電圧で出力します。

- ・ターゲット電源が接続されていないターゲットを使用する場合

MIL コネクタ 8 ピン、または、MDR コネクタ 29 ピンに電源が接続されていないターゲットを PALMiCE3 で使用する場合、ターゲット電源を検出することができないため起動時に以下のメッセージが表示されます。



PALMiCE/PALMiCE2 と同様に電源の検出を行わずに、PALMiCE3 からの HUDI 信号電圧を 3.3V に固定して起動させる場合には、ターゲット・システムの設定ウィンドウの[初期値の設定]-[PALMiCE3 の HUDI 信号電圧を、コネクタに入力されているターゲット電圧(Vref)にあわせる(チェックしない場合、3.3V 固定です)]のチェックを外します。



なお、PALMiCE/PALMiCE2 のプロジェクトファイルを読み込んだ場合、自動的にこのチェックが外れて起動します。

※HUDI 信号が 3.3V では問題がある場合には、このチェックを外さないでください。

## Chapter 5. ファイルの互換性

CSIDE で取り扱う各種ファイルの互換性について説明します。

下記ファイルは、PALMiCE/PALMiCE2 との互換性がありますので PALMiCE3 の環境へ移行させることで使用できます。

	名称	ファイル名	内容
①	プロジェクト・ファイル	*.cpf	メモリマップや表示ウィンドウなど CSIDE のデバッグ時の各種設定を保存したファイル
②	マクロファイル	*.mcr	CSIDE のコマンドを記述したファイル
③	IO 定義ファイル	*.io	I/O ウィンドウ用 I/O 定義ファイル
④	ワークスペース・ファイル	*.cwf	ビルド環境を保存するファイル
⑤	NOR フラッシュデバイス・ユーザ定義ファイル	UserFlash.def	CSIDE 定義以外に追加された NOR 型フラッシュのユーザ定義ファイル
⑥	NAND フラッシュデバイス・ユーザ定義ファイル	NANDUserFlash.def	CSIDE 定義以外に追加された NAND 型フラッシュのユーザ定義ファイル
⑦	ビットマップ・ファイル	UserToolbarS.bmp UserToolbarL.bmp UserToolbar_New_S.bmp UserToolbar_New_M.bmp UserToolbar_New_L.bmp	ツールバーカスタマイズ用ビットマップイメージファイル

移行するために必要なファイルは、①のプロジェクト・ファイルです。

②～⑦のファイルは、作成されている場合に、PALMiCE3 に移行しても使用することが出来るファイルです。

なお、⑤⑥⑦のファイルに関しては、PALMiCE3 の同じ構成のフォルダ内にコピーしてください。

下記ファイルは、互換性がありませんのでご使用いただけません。

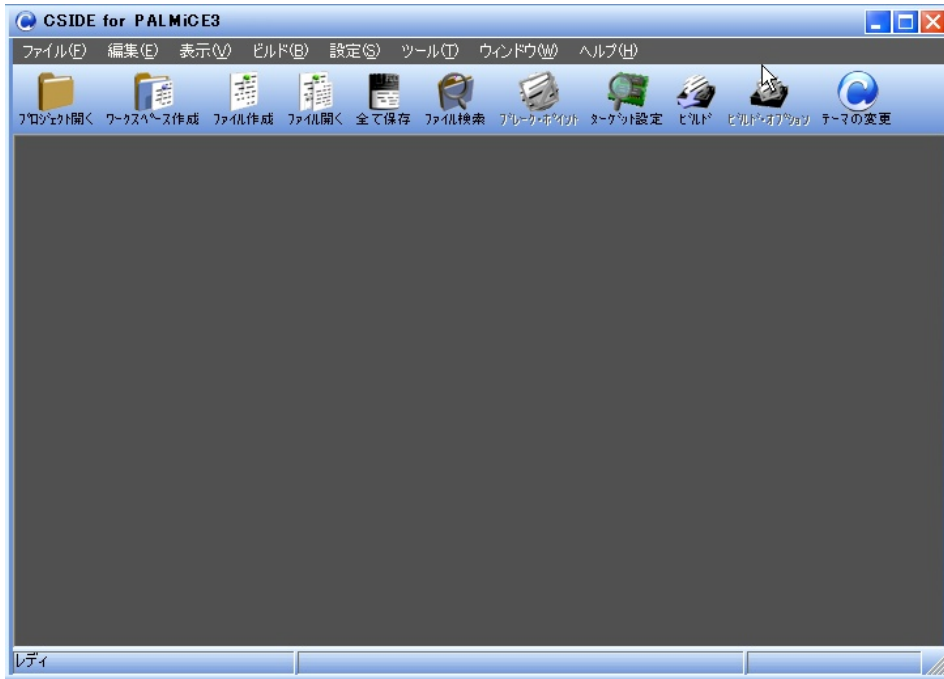
	名称	ファイル名	内容
①	デスクトップファイル	*.Dsk	ショートカット・キーやツール・バーの設定など CSIDE の共通設定を保存するファイル
②	履歴ファイル	*.chf	CSIDE 上の各種履歴を保存するファイル

## Chapter 6. プロジェクトファイルの移行

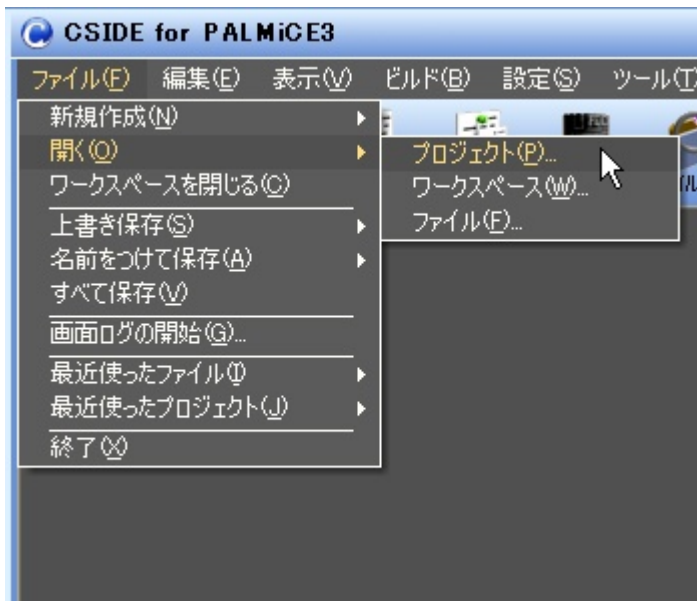
### 6-1 移行手順

PALMiCE/PALMiCE2 のプロジェクトファイルを使用して、PALMiCE3 の環境へ移行させる手順を示します。  
以下の手順に沿って操作を行ってください。

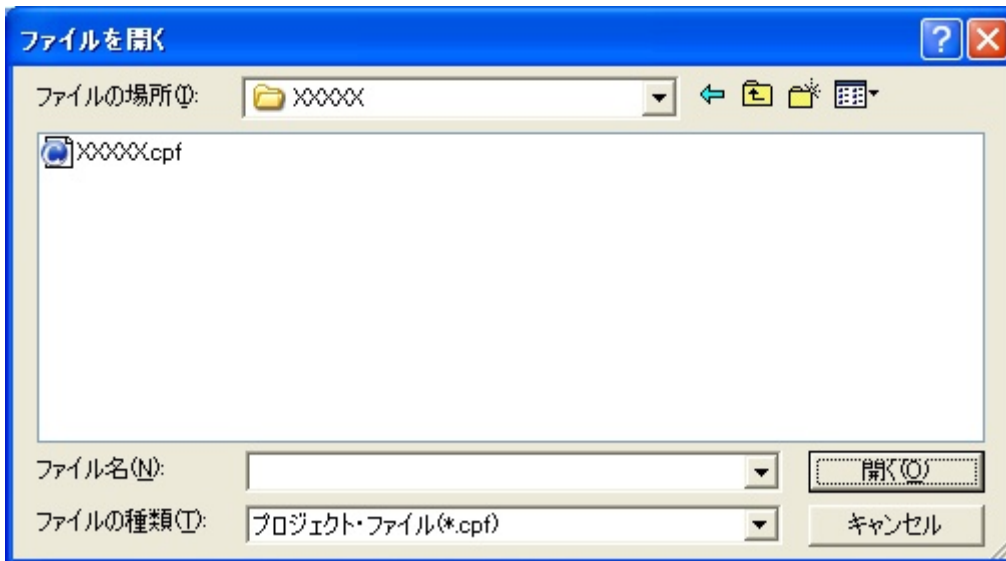
1. スタートメニューから CSIDE for PALMiCE3 を起動させてください。  
何もウィンドウが表示されていない状態で起動します。



2. ファイルメニュー[開く][プロジェクト]を選択してください。

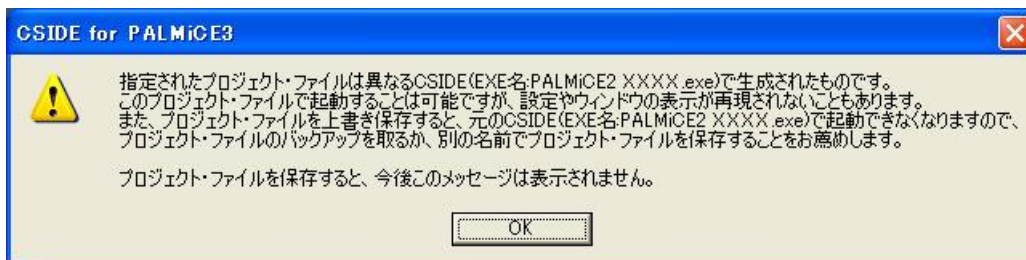


3. PALMiCE/PALMiCE2 のプロジェクト・ファイルを選択し開いてください。

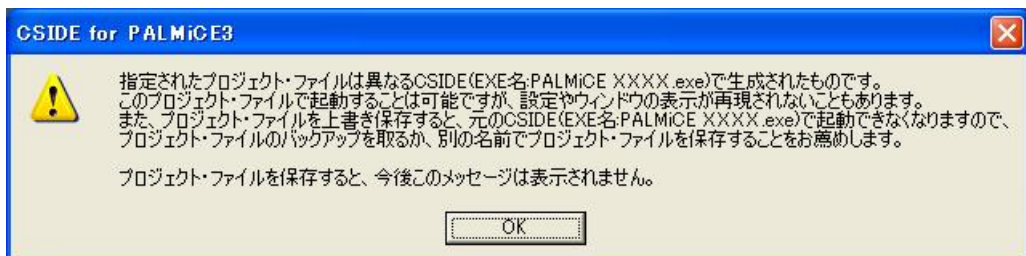


4. プロジェクト・ファイルを開くと、プロジェクト・ファイルが生成された機種とは異なるため、以下のメッセージが表示されます。「OK」を選択し読み込みを継続させてください。

■ PALMiCE2



■ PALMiCE



5. 「はい」を選択するとプロジェクト・ファイルの読み込みが行われ、PALMiCE/PALMiCE2 での環境を復元され CSIDE が起動します。

6. 起動後、プロジェクト・ファイルへの保存を行えばプロジェクト・ファイルの移行が完了です。

以下の何れかの方法でプロジェクト・ファイルを保存してください。

- ・ファイルメニュー[上書き保存][プロジェクト]
- ・ファイルメニュー[名前をつけて保存][プロジェクト]
- ・ファイルメニュー[終了]で[プロジェクトを保存して終了]をチェックして終了(×ボタンでの終了時と同じ)



## 6-2 スタイルについて

CSIDE Ver.5 からテーマ機能を新たに実装しています。

CSIDE Ver.4 で作成したプロジェクト・ファイルを開いた場合、以下の CSIDE のスタイルを選択するダイアログが表示されます。ダイアログから表示させるスタイルを選択してください。

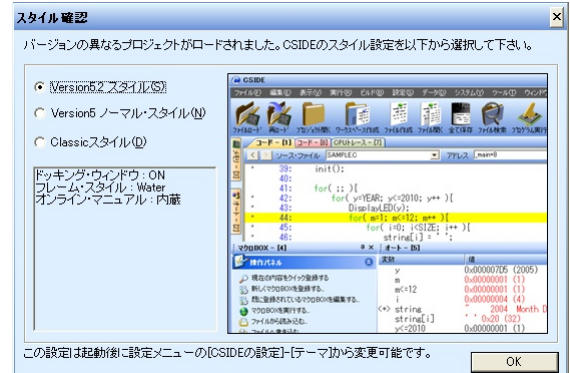
Ver.4と同様の操作感で使用する場合には、[Classicスタイル]を選択することで今までと同様にお使いいただくことができます。なお、ここで選択されたスタイルは、起動後に設定メニュー[CSIDE の設定][テーマ]から変更することが可能です。

### •Version5.2 スタイル

デフォルトで一部のウィンドウをドッキング・ウィンドウで開きます。

メイン・ウィンドウのテーマは、Water に設定されます。

オンライン・マニュアルの表示は内蔵ブラウザで表示されます。

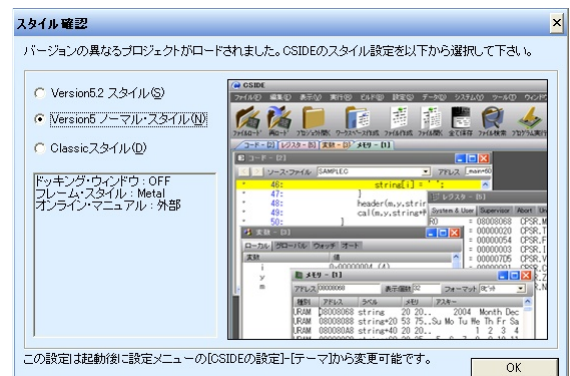


### •Version5 ノーマル・スタイル

デフォルトで一部のウィンドウをチャイルド・ウィンドウで開きます。

メイン・ウィンドウのテーマは、Metal に設定されます。

オンライン・マニュアルの表示は内蔵ブラウザで表示されます。

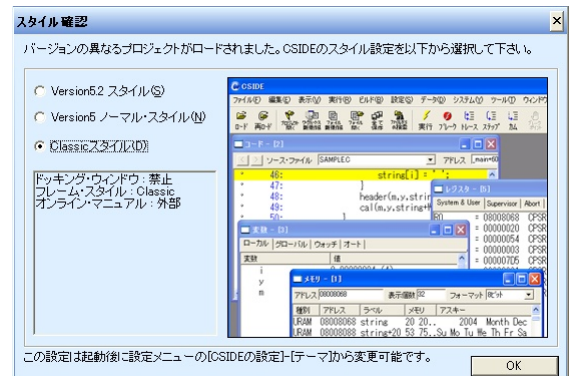


### •Classic スタイル

ドッキング・ウィンドウでの表示は行えません。

メイン・ウィンドウのテーマは Classic に設定されます。

オンライン・マニュアルの表示は外部ブラウザでの表示です。



## Chapter 7. オプション製品の互換性

### 7-1 ハードウェアオプション

#### ・ICE-ADP

PALMiCE2 と互換性がありますので、そのまま使用可能です。

#### ・変換コネクタ

##### ・5V 変換アダプタ(ADP-HUDI-5V)

PALMiCE3 では、ターゲット電圧に合わせて動作するため不要です。

##### ・HUDI/AUD 変換アダプタ(ADP HUDI-AUD/ADP AUD-14)

電源検出用端子の変換が行えません。このた PALMiCE3 で使用した場合、ターゲット電源の検出が行えなくなります。詳しくは、Chapter4 ハードウェアの互換性を参照してください。

#### ・エミュレーションユニット

PALMiCE3 では使用できません。

#### ・リセットアウトプローブ

HUDI140 モデルのリセットアウトプローブは、PALMiCE/PALMiCE2 と互換性がありますので、付け替えて使用可能です。

### 7-2 ソフトウェアオプション

PALMiCE/PALMiCE2 で使用いただいている各種デバッグライブラリは、PALMiCE/PALMiCE2 専用のライブラリとなっており互換性はありません。このため PALMiCE3 に移してお使いいただくことはできませんので、PALMiCE3 用のデバッグライブラリが必要となります。

## Chapter 8. プロジェクト・ファイルの併用

先に記述している通りプロジェクト・ファイルの移行は、PALMiCE/PALMiCE2 から PALMiCE3 に対してのみ行えます。プロジェクト・ファイルを、一旦 PALMiCE3 にて上書きしますと PALMiCE/PALMiCE2 では使用できなくなるため、PALMiCE/PALMiCE2 との間でプロジェクト・ファイルを共有しての併用することはできません。それぞれを独立してお使いいただく必要があります。

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で使用することや、複製することはできません。
- ・本製品の内容、および仕様に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書に関する疑問点や誤り、記載もれ、ご意見、ご感想、ご要望などがありましたら当社までご連絡ください。
- ・CSIDE および COMPUTEX は、(株)コンピューテックスの登録商標です。

---

**Computex**<sup>®</sup>

株式会社コンピューテックス  
テクニカルセンタ

〒605-0846

京都市東山区五条橋東四丁目 432-13 対嵐坊ビル 4F

TEL.075(551)0373 FAX.075(551)2585

WebSite : <http://www.computex.co.jp/>

E-Mail : [support@computex.co.jp](mailto:support@computex.co.jp)

## PALMiCE/PALMiCE2 から PALMiCE3 への移行

2008 年 2 月 第 2 版